

佐賀県知事 山口 祥義 様

住 所 佐賀市神野東2-6-10
団 体 名 （一財）佐賀県母子寡婦福祉連合会
代表者職・氏名 理事長 久米 幸子
電話番号 0952-97-9767

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

2021年5月13日付け県協第338号、2021年7月30日付け県協第875号及び2022年2月7日付け県協第2150号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和3年度寄附金活用実績報告書

事業名	佐賀県ひとり親家庭支援事業
寄附受入額	1,490,000 円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>1、親子ふれあい野外研修 期間：令和3年7月24日～25日 場所・会場：鎮西町 佐賀県立波戸岬少年自然の家 主催者・参加者：佐賀県母子寡婦福祉連合会 県内ひとり親家庭の親子26名 事業の要旨：日常生活では味わう事の出来ない自然体験、野外炊飯、キャンプファイヤーを体験することで自然を理解し保護する心、責任感、協力する態度を養う事が出来た。</p> <p>2、親と子のふれあい研修会 期間：令和3年11月14日 場所・会場：佐賀市 佐賀県ひとり親家庭サポートセンター 主催者・参加者：佐賀県母子寡婦福祉連合会 県内ひとり親家庭49名 事業の要旨：ひとり親家庭の親子で竹とんぼ、クリスマスツリー等の物づくりを楽しんだ。</p> <p>3、佐賀県母子寡婦福祉研修大会 期間：令和3年7月4日 場所・会場：伊万里市 伊万里市民センター 主催者・参加者：佐賀県母子寡婦福祉連合会、当団体会員、関係者90名の参加を得て、コロナ感染予防対策を徹底して開催 事業の要旨：伊万里市郷土研究会会長 松尾清氏による特別講演「海の中から生まれたまち」。ひとり親家庭及び寡婦の福祉の向上を目指して活動することを目的に開催。</p> <p>4、トーク&トーク 期間：令和4年1月30日 場所・会場：佐賀市 佐賀県ひとり親家庭サポートセンター 主催者・参加者：県内ひとり親家庭60名を予定していたが、コロナ感染症が拡大している時期だったので、中止とした。</p>	
事業実施の成果・効果 (見込み)	
<p>※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。</p> <p>死別、離別等でひとり親家庭となり、ひとりで子育てと生計の維持を担わなければならないひとり親家庭の抱える悩みや問題は多い。行政が行う支援制度の研修会、ひとり親同士が語り合う研修会等を通じて、安心して生活し、子どもを育てることのできる環境をつくる手助けをすることによりひとり親家庭の自立につなげていった。</p>	

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		佐賀県ひとり親家庭支援事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	616,500	第1回交付：616,500 円
		162,000	第2回交付：162,000 円
		0	第3回交付：0 円
		711,500	第4回交付：711,500 円
	佐賀県共同募金	344,000	
	収入 計	1,834,000	
支 出	謝金	60,000	
	旅費	219,998	
	印刷製本費	221,100	
	消耗品費	220,678	
	使用料・賃借料	65,500	
	保険料	8,843	
	返礼品等の調達に係る費用	348,325	
	返礼品等の送付に係る費用	4,730	
	広報に係る費用	0	
	事務に係る費用	7,077	
	次年度繰越金	677,749	次年度にドリームキャッチ野球教室事業に充当予定
支出 計	1,834,000		

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。